

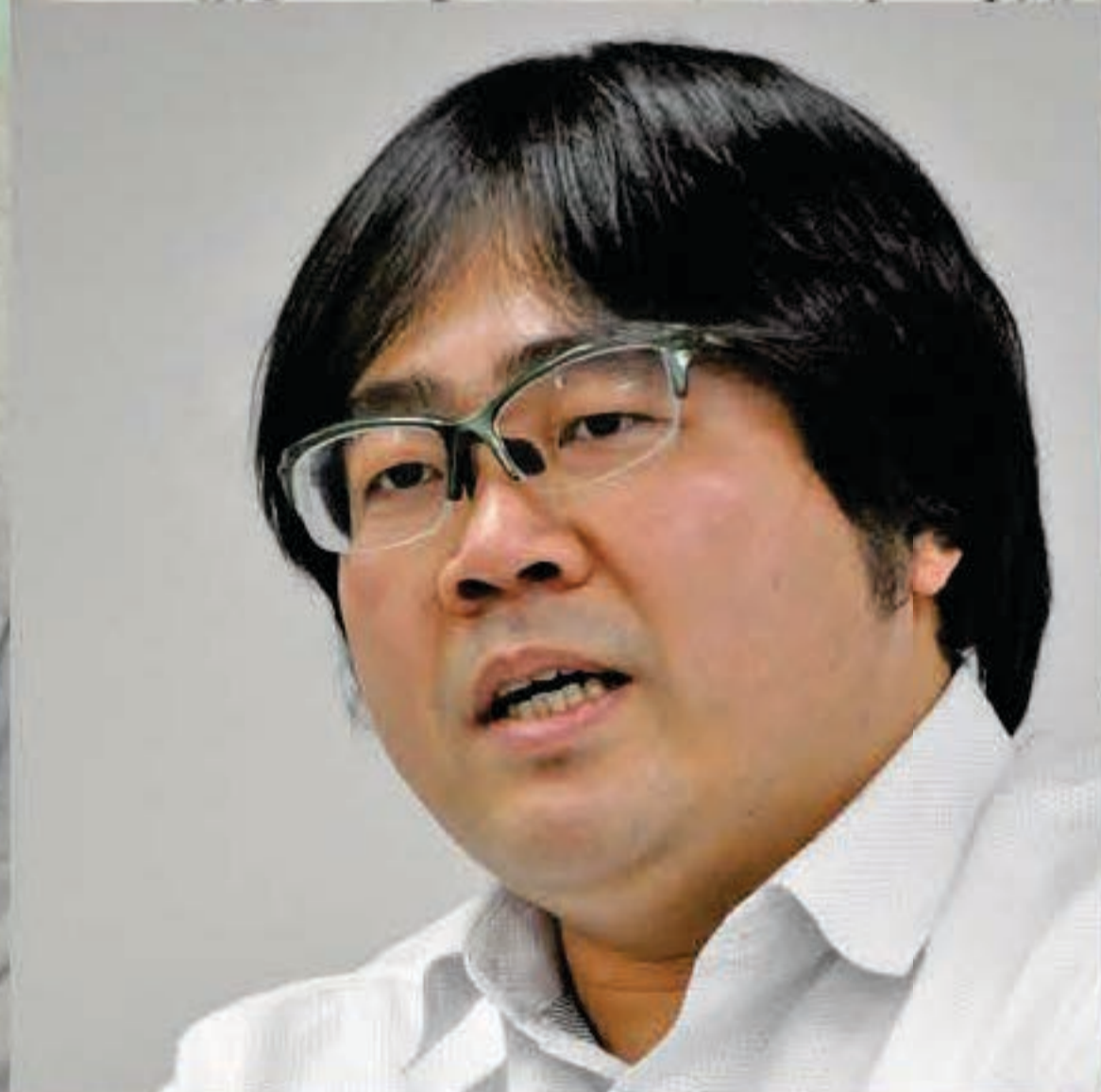
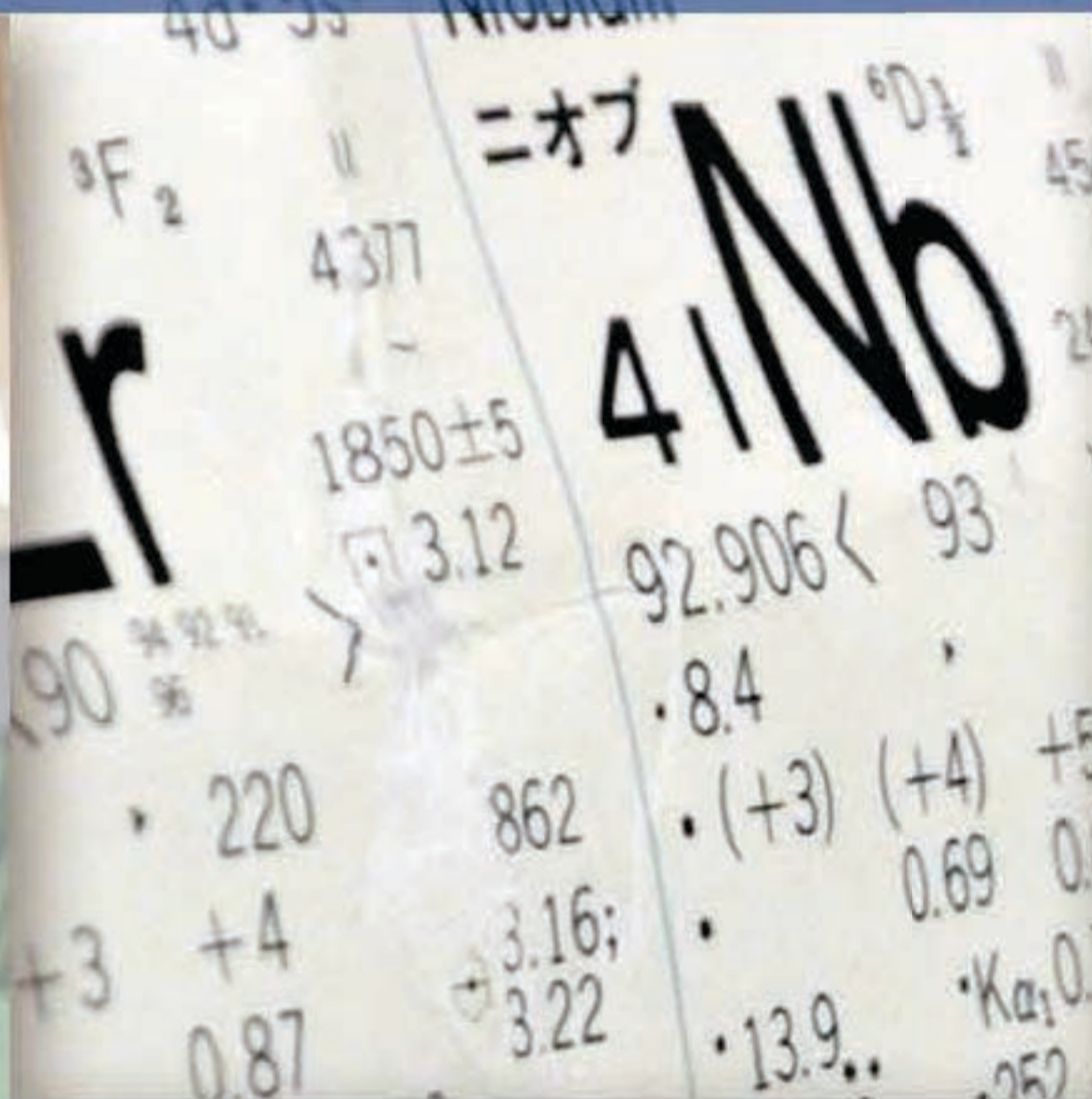
蘭岳

若手研究者会
准教授インタビュー①②
学会賞受賞者
サークル紹介①②③
インフォメーション／学年暦

2018.[春号]
No.138



国立大学法人
室蘭工業大学
MURORAN INSTITUTE OF TECHNOLOGY





若手研究者会

室蘭工業大学若手研究者会(代表・雨海有佑准教授、8人)は2011年(平成23年)に主に30代の有志の教員で結成され、研究や教育面での連携を進めてきた。平均年齢は37歳。異なる分野の研究者が協力し、研究や教育の質の向上のために活動している。

発足

「それぞれが独立している教員が、研究面で協力できることはないか」と思い立ち、賛同者が勉強会を開いたことがきっかけで立ち上げられた。当初は2時間程度で、メンバーそれぞれの研究を紹介と交流からスタートした。本学の30代の教員は全体の20%ほど。互いに連携し、研究や教育の面で協力を進めている。

研究内容はそれぞれ特色がある。新しい物質を合成し、その性質を調べる固体物理学をはじめ、1万気圧以上もの圧力を加えた場合の物質の性質を調べる、天然素材からプラスチックを作る、光エネルギーの変換、石油製品や水素製造のための環境触媒の開発、粉体工学など多岐にわたる。

雨海准教授は「自分の研究分野以外の知識も学べ、互いに仕事面で相談もしやすくなる」と会としての意義を強調する。教育面でも、メンバー間で協力関係を構築し、それぞれ教員が受け持つ学生を相互に指導している。「研究室に入ると、基本的に指導教員との関わりだけになる。さまざまな先生と関わりを持ち、考え方を吸収できる」と会のメリットを強調している。高瀬舞准教授も「他の先生の指導を受け、自分以外の若手教員の姿を見せることも大切」と力を込める。

研究室に入っていない3年生以下の学生も積極的に質問する姿が見られる。「若手教員が力になれることがあると思う」という。その活動の一つとして、半年に一度、主に学生向けに若手研究者の講演会を開催し、本学だけではなく学外の若手教員にも講演を依頼し、研究や勉強に少しでも興味を促す取り組みを行っている。



若手研究者会メンバー紹介

貢献

地域貢献では、サイエンススクールでの講師や講演活動も務める。雨海准教授は「研究でコラボレーションできる面は大きい。共著で学会発表し、外部資金も獲得できた」と大きい成果もあった。

例として、「山中真也准教授が新しい方法でグラフェン(蜂の巣状に結合した炭素原子で作られるシート状



サイエンススクールの開講

の物質)を作成し、高瀬准教授が酸化チタンと組み合わせ、高瀬准教授と神田康晴准教授が協力して酸化水素の分解による水素製造のための触媒として活用する」といった内容の研究を財団から資金を受けて進めている。

互いに得意とする高分子合成(馬渡助教)と磁気的性質の評価(雨海准教授)がコラボして無色透明なソフトマテリアルを生み出す研究にチャレンジ。学会発表も行っている。

今後は他大学や民間企業の研究者、行政との連携も模索していく。

挑戦

「大学生は時間があるようでほとんどない。楽しいこと、友人、恩師、何かを見つけられれば人生が豊かになると思う」(雨海准教授)、「新しいことにチャレンジしてほしい」(山中准教授)と新入生にエールを送る。

馬渡助教は「仲間とのチャレンジは必要。時間は戻ってこないなので無駄にしないで、問題意識を持って大学にきてほしい。そうすれば世界が変わる」と新入生にアドバイスしていた。



《若手研究者会代表》

[もの創造系領域]
応用物理学ユニット

あま かい ゆう すけ
准教授 雨 海 有 佑



[しくみ情報系領域]
電子デバイス計測ユニット

かわ むら ゆき ひろ
助 教 川 村 幸 裕



[くらし環境系領域]
物質化学ユニット

ま わたり やす てる
助 教 馬 渡 康 輝



[くらし環境系領域]
物質化学ユニット

かん だ やす はる
准教授 神 田 康 晴



[くらし環境系領域]
物質化学ユニット

たか せ まい
准教授 高 瀬 舞



[くらし環境系領域]
物質化学ユニット

やま なか しん や
准教授 山 中 真 也



[もの創造系領域]
応用物理学ユニット

みや ざき まさ のり
助 教 宮 崎 正 範



[しくみ情報系領域]
知能情報学ユニット

とう めん ゆう
准教授 董 冕 雄

くらし環境系領域の高瀬裕也准教授は、既存建築物の修復と耐震補強の研究に力を注いでいる。

地震大国における建築考 未来に拓げる一步。



くらし環境系領域

准教授 高瀬裕也

既存建築物の耐震補強と修復

耐震補強は、大きな地震で被害を受ける可能性がある改正前の基準で設計された既存建物に、新たな耐震部材を装着して耐震性を高める技術である。高瀬准教授は「この新しい部材を既存建築物に接合する部分が難しく、設計で困ることが多い」と指摘する。

一般には「あと施工アンカー」と「目荒らし」と呼ばれる接合工法が活用されている。前者は、既存のコンクリートに穴を空け、接着剤を入れて鉄筋などのアンカーボルトを定着する。後者は、コンクリートの表面を削り、凹凸を設けた上で、新しいコンクリートを流し込み、機械的な噛み合いで接合する技術である。

「詳しい現象が分からないまま、設計法が確立されて



いることから、メカニズムをより詳細に解明し、最適な設計法を検証する必要がある」と強調する。また、これら既存の技術では、振動や騒音、適用範囲の問題から、工事に適応できない場合がある。

高瀬准教授は民間企業の研究所に所属していたとき、これらの課題を克服する新しい技術も開発している。

「昔はスクラップ・アンド・ビルドで、高度成長期以降は新しい建物をどんどん造っていった。ただ、人口減少で経済成長が予測される今後は、既存の建物を保全し、有効活用する技術がより重要になるだろう」と研究の可能性を指摘する。耐震化技術は進んでいるが、常時作用する荷重に対する検討例は少なく、「今後は、長期荷重下におけるメンテナンス技術の研究開発を強化する必要がある」と強調する。

未来を預かる日本建築の展望

日本では地震で多くの被害が出ている。高瀬准教授の研究室では、模型を作って壊す実験や、数値シミュレーションを行っているという。「建設物が壊れることを実感し、設計法ができた背景や理由を理解できる技術者になってほしい。」と教育方針を語る。

「室蘭工大に入学する学生は将来、製造業や建設業などの民間企業で働く人が多いだろう」と述べる。「これらの業種では、官公庁の職員、大企業のエンジニアから町工場の職人など、さまざまな年齢、職種の人々と仕事をする事になり、自分の価値観だけでは通じないこともある。技術を磨くだけでなく、色々な人と交流できる人間になってほしい」と話す。

「日本の工学技術は、国際的に見てもレベルが高く、今後は海外の研究者らと共同研究を進め、海外への発信にも力を入れたい」と熱意を語った。

目的を果たすための 効率論と最適化。

しくみ情報系領域
准教授 渡邊 真也



しくみ情報系領域の渡邊真也准教授は、多目的最適化をメインテーマに、一定の条件下において利益やコスト、満足度といった複数の評価基準を同時に最適し、その結果について分析するための手法について研究を行っている。

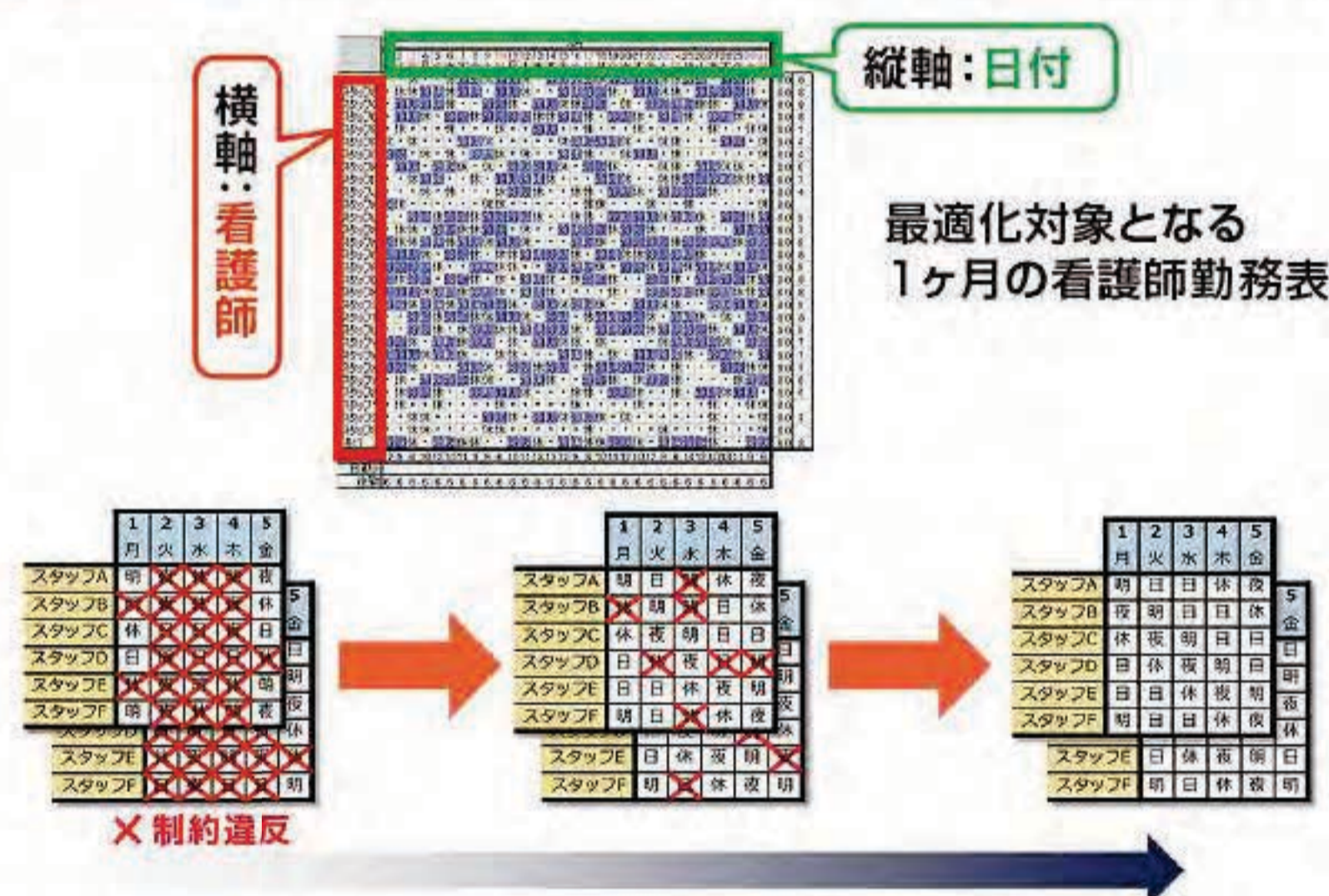
多目的最適化は、価格や性能など、複数の評価基準が存在する問題において、より好ましい条件や関係性を明らかにする情報学の手法である。

例えば、パソコンを購入する場合、価格と性能がトレードオフ(あちらを立てればこちらが立たず)の関係にある場合、各価格帯における最も高い性能のもの、もしくは性能ごとに見たもっとも安い商品の情報などを明らかにすることができ、消費者が納得して購入商品を決める手助けが可能だ。渡邊准教授は「性能と価格の細かな違いを比較し、納得できる選択肢を提示できる。パソコンの例で言えば、一定の性能を保った上で、価格が一番安い商品を探すなど、消費者の利益を最大化できる部分を探索できる」と有用性を強調する。



これまで、渡邊准教授の研究室では、似顔絵(アバター)の自動生成システムや、看護師勤務表の自動作成システム、超音速ロケットのエンジン設計など幅広い分野で多目的最適化の技術を応用し、研究成果をあげている。例えば、ロケットエンジンの多目的最適化を

進化計算を用いスケジューリング最適化の例



通じて、ロケットに関する細かな設計(例えば、ノズルの長さや機体全体に対する燃料タンクの割合など)が到達高度や重量にどのように影響しているのか、また重量と最高到達高度にどのようなトレードオフの関係にあるのかを詳細に解析することができる。

渡邊准教授は、「多目的最適化およびその分析を通じて、有益な情報のエッセンスを炙り出し分析することができるため、非常に効率が良いだけでなく、これまで埋もれていた有用な知見に気づくことができる」と指摘する。コンピュータの性能が向上することで、これまで以上に複雑で広範囲な計算が可能になるため、「これからさらに応用範囲を広げ、世界第一線の研究を学生とともにチャレンジしたい」と意気込む。学生には「問題解決能力を身に付けてほしい」と求め、「現象の背景や本質を考え、その原因やキーは何かを考えられる人になってほしい」とエールを送っていた。



受賞年月日/2017年9月1日 国際フォーラムEPAM2018

Best Presentation Award

Polyhydroxyalkanoates (PHAs) production by Bacillus sp. CYR1 using unused resources

環境創生工学系専攻 小野寺 瑠 依
くらし環境系領域・教授 張 裕 喆

受賞年月日/2017年3月15日 土木学会水工学委員会

水工学論文奨励賞

メコン川下流域の洪水氾濫に対する観測結果を反映した河道条件の影響分析

工学専攻・先端環境創生工学コース 工 藤 俊
くらし環境系領域・教授 中津川 誠

受賞年月日/2017年7月1日 日本環境技術学会

優秀論文発表者賞

Production of (R)-3-hydroxybutyrate monomer by a poly-3-hydroxybutyrate-degrading bacterium Cupriavidus sp. CSN-1

工学専攻 孫 暁 航
くらし環境系領域・教授 張 裕 喆

受賞年月日/2017年7月23日 日本水環境学会

Best Presentation Award

Biodegradation of Poly-3-hydroxybutyrate and Production of (R)-3-hydroxybutyric acid

工学専攻 孫 暁 航
くらし環境系領域・教授 張 裕 喆

受賞年月日/2017年9月8日 土木学会地球環境委員会

地球環境論文奨励賞

将来の気候変化が積雪の量的・質的变化に及ぼす影響に関する研究

工学専攻・先端環境創生工学コース 谷 口 陽 子
くらし環境系領域・教授 中津川 誠

受賞年月日/2017年9月20日 水文・水資源学会

優秀ポスター賞(金賞)

旧川蛇行復元事業に伴う地下水位と河川水位の変化について

工学専攻・先端環境創生工学コース 谷 口 陽 子
くらし環境系領域・教授 中津川 誠

受賞年月日/2017年9月25日 IEEE VTS Tokyo Chapter

Student Paper Award (論文賞)

Time-saving First: Coflow Scheduling for Datacenter Networks

工学専攻 Wuyunzhaola
しくみ情報系領域・准教授 董 冕 雄

受賞年月日/2017年1月30日 化学系学協会 北海道支部

優秀講演賞

白金触媒によるメチルシクロヘキサンの脱水素

環境創生工学系専攻 森 公 佑
くらし環境系領域・教授 上道 芳 夫

受賞年月日/2017年3月23日 触媒学会

学生ポスター発表賞

白金触媒を用いたメチルシクロヘキサンの脱水素

環境創生工学系専攻 森 公 佑
くらし環境系領域・教授 上道 芳 夫

受賞年月日/2017年9月25日 日本コンクリート工学会

Student Paper Award (論文賞)

既存部材におけるコンクリート目荒らし面のせん断抵抗に関する基礎的研究

環境創生工学系専攻 磯 崎 翼
くらし環境系領域・教授 溝 口 光 男

受賞年月日/2017年8月3日 高分子学会グリーンケミストリー研究会

ポスター発表優秀賞

ポリオレフィン水素によって形成される特殊反応場を利用したプラスチックケミカルリサイクル

環境創生工学系専攻 加 賀 慎 之 介
くらし環境系領域・教授 上道 芳 夫

受賞年月日/2017年7月1日 化学工学会 関東支部

入賞

ホッキ貝用泡沫分離装置の交換流量

環境創生工学系専攻 竹 原 禎 稀
くらし環境系領域・助教 澤 田 紋 佳

受賞年月日/2017年9月25日 日本化学会北海道支部

優秀講演賞

ランタノイドイオンを含むイオン液体 [C6mim]3[Ln(SCN)6(H2O)2] (Ln=ランタノイド) のファラデー効果

環境創生工学系専攻 打 田 敦 也
くらし環境系領域・准教授 飯 森 俊 文

受賞年月日/2017年11月10日 公益社団法人土木学会全国大会実行委員会

土木学会 平成29年度全国大会 第72回年次学術講演会 優秀講演者

鉄筋コンクリート充填鋼管柱の静載荷実験に関する弾塑性有限要素解析

環境創生工学系専攻 堅 田 恭 輔
くらし環境系領域・准教授 小 室 雅 人

受賞年月日/2018年1月12日 建築研究振興協会

優秀若手構造研究者表彰(コンクリート系)

既存コンクリート建造物の耐震補強における目荒らし面の力学モデルに関する研究

環境創生工学系専攻 磯 崎 翼
くらし環境系領域・教授 溝 口 光 男

受賞年月日/2017年7月14日 日本金属学会

日本金属学会北海道支部奨励賞

高速気流中衝撃処理したLa2Mg17合金の水素化特性

生産システム工学系専攻 湯 谷 将 太 郎
もの創造系領域・教授 斎 藤 英 之

受賞年月日/2017年9月4日 日本機械学会機素潤滑設計部門

卒業研究コンテスト優秀発表

キャビテーション噴流による非衝突面の壊食実験(テーバ加工試験片の結果)

生産システム工学系専攻 野 田 達 也
もの創造系領域・教授 風 間 俊 治

受賞年月日/2017年9月15日 一般社団法人ターボ機械協会

第78回富山講演会 若手優秀講演賞

小型超音速エンジン用軸受の発熱/冷却特性評価

生産システム工学専攻 向 江 洋 人
航空宇宙総合工学コース
もの創造系領域・助教 湊 亮 二郎

受賞年月日/2017年11月2日 日本光学会

OPJ優秀講演賞

モンテカルロ法による分光反射率データベースの生成と皮膚組織パラメータの推定法

生産システム工学系専攻 鈴 木 達 也
もの創造系領域・准教授 湯 浅 友 典



受賞年月日/2017年10月7日 **進化計算学会**

進化計算コンペティション2017最優秀賞(単目的最適化部門)

最適化アルゴリズムの性能を競う「進化計算コンペティション2017」
(<http://is-csse-muroran.sakura.ne.jp/ec2017/EC2017compe.html>)
の単目的部門において最も優れた性能を持つアルゴリズムとして表彰

情報電子工学系専攻 **開発拓也**
しくみ情報系領域・准教授 **渡邊真也**

受賞年月日/2017年10月7日 **情報処理学会 MPS研究会**
ベストプレゼンテーション賞

単目的最適化のための探索空間低次元化に基づく
新たなアプローチの提案

情報電子工学系専攻 **開発拓也**
しくみ情報系領域・准教授 **渡邊真也**

受賞年月日/2017年10月7日 **情報処理学会 北海道支部**
研究奨励賞

次元削減手法を用いた新たな単目的最適化手法の提案

情報電子工学系専攻 **開発拓也**
しくみ情報系領域・准教授 **渡邊真也**

受賞年月日/2017年12月22日 **可視化情報学会**

ベストプレゼンテーション賞

熱画像法による水素吸蔵合金充填容器の発熱分布の可視化

生産システム工学系専攻 **山本駿悟**
もの創造系領域・助教 **大石義彦**

受賞年月日/2015年1月11日 **電気・情報関係学会北海道支部連合大会**
若手優秀論文発表賞

領域分割有限要素ビーム伝搬解析のための境界処理に関する検討

情報電子工学系専攻 **河井翔平**
しくみ情報系領域・教授 **辻寧英**

受賞年月日/2015年2月16日 **IEEE Sapporo Section**
Encouragement Award

A single-polarization holey fiber with anisotropic lattice of circular air holes

情報電子工学系専攻 **市川和輝**
しくみ情報系領域・教授 **辻寧英**

受賞年月日/2015年3月10日 **IEICE北海道支部学生会インターネットシンポジウム**
優秀発表賞

線形フィルタを用いたベクトル有限要素ビーム伝搬法の安定化に関する研究

情報電子工学系専攻 **河井翔平**
しくみ情報系領域・教授 **辻寧英**

受賞年月日/2015年3月10日 **可視化情報学会**
優秀発表賞

線形フィルタを用いたベクトル有限要素ビーム伝搬法の安定化に関する研究

情報電子工学系専攻 **森本佳太**
しくみ情報系領域・教授 **辻寧英**

受賞年月日/2017年5月25日 **International Association of Engineers**
Certificate of Merit for The 2017 IAENG
International Conference on Computer Science

Analysis of Individual Characteristics in Vowel Spectral Envelopes

情報電子工学系専攻 **後藤廉太**
しくみ情報系領域・准教授 **岡田吉史**

受賞年月日/2017年6月22日 **FCST-2017**
Best Paper Award

Everything is Image: CNN-based Short-term Electrical Load Forecasting for Smart Grid

情報電子工学系専攻 **李良知**
しくみ情報系領域・准教授 **董冕雄**

受賞年月日/2017年9月26日 **一般社団法人日本音響学会**
学生優秀発表賞

多自由度超音波モータ用球状ステータの駆動点の検討

情報電子工学系専攻 **水野愛**
しくみ情報系領域・教授 **青柳学**

受賞年月日/2017年9月26日 **一般社団法人日本音響学会**
学生優秀発表賞

浮揚物体の傾斜が搬送に与える影響、
近距離場音波浮揚による非接触ステッピング搬送(5)

情報電子工学系専攻 **和田顕次**
しくみ情報系領域・教授 **青柳学**

受賞年月日/2017年10月7日 **情報処理学会北海道支部**
研究奨励賞

リカレントニューラルネットワークによる河川の水位予測
-2016年8月の北海道・常呂川の洪水をケーススタディとして-

情報電子工学系学科 **山田恒輝**
しくみ情報系領域・教授 **岸上順一**

受賞年月日/2017年10月7日 **情報処理学会北海道支部**
研究奨励賞

看護師勤務表作成問題における分枝価格法とメタヒューリスティクスを
組み合わせた新たなアプローチの提案

情報電子工学系専攻 **稲船淳也**
しくみ情報系領域・准教授 **渡邊真也**

受賞年月日/2017年11月18日 **ビーム物理研究会**
ビーム物理研究会 若手発表賞

粒子加速器バンチコンプレッサーにおいて航跡場が
ビーム動力学に及ぼす影響の評価

情報電子工学系専攻 **富田大介**
しくみ情報系領域・准教授 **川口秀樹**

受賞年月日/2017年4月21日 **土木学会北海道支部**
優秀学生講演賞

釧路川の蛇行復元に伴う地下水水位と河川水位の変化について

建築社会基盤系学科 **佐々木瑞乃**
くらし環境系領域・教授 **中津川誠**

受賞年月日/2017年10月26日-28日 **複素環化学討論会実行委員会** (日本理化学会、日本化学会、
日本農薬化学会、有機合成化学協会)

優秀発表賞

-Amino Alcohol Organocatalyst for Asymmetric Michael Addition of 1,3-Dicarbonyl
Compounds with Nitroalkenes
(α -アミノアルコール有機分子触媒を用いる1,3-ジカルボニル化合物とニトロアルケン類との不斉マイケル反応)

応用理化学系学科
バイオシステムコース4年(6年一貫コース) **参鍋春花**
くらし環境系領域・教授 **中野博人**

受賞年月日/2018年2月1日 **化学工学会北海道支部**
化学工学会北海道支部学術奨励賞

炭酸カルシウム合成の新しいパラダイム

応用理化学系学科 **永石新太郎**
くらし環境系領域・准教授 **山中真也**



アルティメットとは

アルティメット (ultimate) は、バスケットボールとアメリカンフットボールを合わせたスポーツで、1960年代にアメリカで考案された。7人制でフライングディスクを使い、縦37m、横100mのコート内でプレー。両端18mの範囲に設けられた自陣のエンドゾーン内で、ディスクをキャッチするとポイントが入る。接触プレーは禁止されている。審判は置かず、プレイヤー自らが話し合いで判定を行う。

室蘭工業大学アルティメットサークル連(吉田和矢部長、14人)は、フライングディスクを用いて得点を競うスポーツ「アルティメット」を楽しむサークルとして昨年5月に本学から公認を受けた。チームとして大会初出場を目指し、練習に励んでいる。

2017年5月
アルティメット 連スローオフ!!



吉田部長の高校の同期が北海道大学でアルティメットのサークルに所属していて、吉田部長は友人を通してアルティメットを知った。当初は別のサークルで活動していたが、フリスビーで遊んでいた人を見かけたときに、アルティメットの存在を思い出し「自分で作ろう」と連の立ち上げを決意した。



アルティメットサークル連
部長 吉田 和矢

連は2年前に発足し、昨年5月に公認された。吉田部長は「男女混合のミックスもあり、若者から年配の人まで楽しめる」とアピールする。

連の由来は港町の室蘭から連想され、吉田部長が好きなアーティスト「己龍」の曲名。

公認は5月だったため、新入生勧誘の期間が過ぎていた。学内での

宣伝活動はできず、会員制交流サイトなどでメンバーを集めたという。「比較的新しいスポーツで、無知の状態から勉強を始めた」と吉田部長は当時の苦勞を振り返る。

道内他大学ではサークルは比較的多く、北星学園大学や北翔大学などとの合同練習にも取り組むという。練習は週2回ほどで、縦1列に並び、一番後ろの人がディスクを持ってパスをする「スタック」や模擬試合、シュートなどを行う。

現在は学選という大会出場を目標にしている。吉田部長は「マイナースポーツなので日本代表を狙えたりする。初心者でも取り組みやすく、他大学と交流できるのは学生生活にとって大きい」と充実した様子。ミックスに出場するため、女性部員を中心に部員増強を図りたいという。

部員募集中!!



「試合中のコールは全て英語。英語の上達も見込める。1年生から始めれば、最終的には日本代表になれるかもしれない。ディスクを投げれば楽しいので、一度体験してほしい」と新入生にアピールしている。

アカペラサークル Glee Ground

旋律を奏でる愉しみ

アカペラの躍動に魅せる 『達成感』。そして『感動』

室蘭工業大学のアカペラサークル Glee Ground (八重樫諒真代表、40人)は、2013年(平成25年)10月に当時のアカペラブームに乗って結成。アカペラ好きだった初代部長の三本洗一さんが「室蘭工業大学でもやりたい」と旗振り役になった。

活動は札幌と室蘭がメインで室蘭では、病院や福祉施設の慰問演奏、イベントへの出演が多い。札幌では大会に出場し、腕を磨いている。今年は道内の大学のアカペラサークルが一堂に会する大会・The VOXで1~9人の少人数の部で優勝した。



サークル内には10以上のバンドがある。J-POPから歌謡曲、洋楽まで歌うジャンルは幅広い。「聴衆に楽しんでもらうのが狙い。誰でも知っている曲や、聴衆の客層に合わせて調整している」と八重樫部長は話す。「聴衆に良かったと言ってもらえるとうれしい。6人1組なので、練習して成果を出せる達成感が何とも言えない喜びです」と笑顔を見せる。

息を合わせたハーモニー シンクロ律を体感。

札幌での大会では北海道大学や北海学園大学など、強豪がそろう。「個人的には意外性がある歌声で勝負している。アカペラコンテストThe VOXでは他大学は7~9人が多いのに比べ、私たちは2人で出場した」と八重樫部長。

「アカペラの演奏は大学に入ってから始める人も多い。体験入部も受け付けているので気軽に見に来てほしい」と積極的な入部を呼び掛けている。



栄光に

室蘭工業大学 陸上競技部

向かって

情熱を注ぐアスリートたち

室蘭工業大学の陸上競技部(岩本尚大部長、28人)は、陸上が好きで集まった部員たちが、それぞれの目標に向かって練習を続けている。

過去には活動が停滞していた時期もあったが、近年は大会で好成績を残し、活躍が目立っている。



練習の頻度は冬で週2回、夏は週3回。各競技に分かれ、自由に練習しているという。大きい大会を目標に定める部員から健康維持目的は多様だ。5kgの球体を投げ、瞬発力を上げる練習や、スタートダッシュの動きの確認など、自然と熱が入る。「練習の成果が記録として残る。個人種目なので全て自分の責任になり、限界にチャレ



ンジできる」と岩本部長はやりがいをおこにする。岩本部長は中高、長岡祥平副部長は高校でそれぞれ陸上の経験があった。昨年は岩本部長が北海道陸上競技選手権大会の400mで2位、北海道学生陸上競技選手権大会の400mで優勝した。長岡副部長が北海道学生陸上競技対校選手権大会の十種競技で3位に輝いた。

目標は北海道インカレ優勝!!

来シーズンの目標を岩本部長は全日本インカレ出場、長岡副部長は北海道インカレ優勝とそれぞれ定め、ユニフォームも新調し、練習に励む。

「未経験者でも大歓迎。部活で練習していくうちに、競技の面でも、人間性でも一歩ずつ成長してほしい」と2人は新入生にエールを送っていた。



図書館でできること

豊富な蔵書!

工学系の図書だけでなく、文庫・新書、小説、雑誌など様々な本があります。また、ウェブで蔵書や電子ジャーナルの検索ができます。



図書館で語学力UP!

語学検定は、自分のがんばり次第でスコアアップが可能です。TOEICをはじめ、留学を目指す方のためのTOEFL・IELTS関連図書もあります。継続は力なり!!



グループで勉強できる!

1階はオープンエリア、グループで相談しながら勉強できます。2階のグループ学習室も活用してください。



好きな場所でPC作業!

PCロッカーからノートPCを借りられます。ひとりでもグループでも、館内の好きな場所でPC作業ができます。(写真右がPCロッカーです)



最新情報はウェブ、Facebook、Twitterで!

図書館の最新情報はウェブでチェック!ぜひ「お気に入り」「いいね!」「フォロー」に加えてください。



Web <http://www.lib.muroran-it.ac.jp/>
 facebook <http://www.facebook.com/MuroranIT.lib>
 twitter http://twitter.com/MuroranIT_lib

保健管理センター

保健管理センターでは、健康で快適な学生生活が送れるように様々な支援を行っています。お腹が痛い、熱がある、捻挫した、虫に刺された、やる気がわからない、大学を辞めたい...など、心や身体のこと困ったとき、学業の悩みや人生の相談など気軽に利用してください。

利用時間

平日(土・日・祝日は休館)9:00~17:00

12:00~13:00はお昼休みのため閉館しています。
緊急時はお声かけ下さい。

* カウンセリング *

月・木曜日(10:30~15:30)予約制

TEL (0143)46-5855
 E-MAIL hac@mmm.muroran-it.ac.jp
 HP <http://www.muroran-it.ac.jp/medic/>

主な利用内容

初期診療	健康相談・カウンセリング
健康診断証明書の発行	定期健康診断
禁煙相談	各種測定機器の利用

* 診療は医師が担当しています。(出張や授業などで不在の場合もあります。)
 * 利用料、薬代等の料金はかかりません。
 * 相談内容の秘密は守られます。匿名での電話相談にも応じます。

室蘭工業大学
保健管理センター
ホームページ



定期健康診断

4月23日(月)~27日(金)
 大会館で実施します。
 詳細はビロティに掲示します。

AED講習会

*詳しくはホームページをご覧ください。

大学構内には複数のAEDが設置されています。定期的にAED講習会を実施しています。



正門前広場の記念碑「新しい風」

記念碑の作者は彫刻家の松隈康夫氏。記念碑の大きさは高さ5.5m、幅8.5m、厚さ2.5m。重量は6トンほどで「若さ」、「エネルギー」、「はばたき」、「無限」を象徴している。鉄のまじり室蘭からインスピレーションを得て、素材にコルテン鋼(耐候性鋼)を使用した。設置後30年、無塗装のままでも当時の姿を保っている。FeにCu、Cr、Niを含み、その耐用年数は適切な環境下では200年以上とも想定されている。

蘭岳コラム
まちとともにも

記念碑「新しい風」

室蘭工業大学の正門前広場にある記念碑「新しい風」は、札幌農学校(現・北海道大学)開校100周年、前身の室蘭高等工業学校50周年を記念して1989年(平成元年)に設置された。本学は室蘭工業専門学校と北海道大学附属土木専門部が母体。

平成30年度 学部学年暦

前期

4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

- 1~3日 春期休業
- 4日 入学宣誓式
- 4日 DC新入生教務ガイダンス
- 5日 MC新入生教務ガイダンス
- 5~6日 学部新入生オリエンテーション
- 7日 学部1年次TOEIC試験実施日
- 9日 前期授業開始
- 9~20日 前期履修登録期間
- 23~27日 定期健康診断

5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

- 12~13日 体育祭
- 19~20日 体育祭
- 22日 開学記念日

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

- 30日 博士前期課程 入学試験(推薦)

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 18日 月曜日の振替授業日
- 30日 定期試験・補講日 ~8月3日

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 4日 オープンキャンパス
- 8日 学部3年次TOEIC試験実施日
- 6~10日 定期試験予備日
- 11日 夏期休業 ~9月17日
- 28日 博士後期課程入学試験
- 28~29日 博士前期課程 入学試験

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

- 18~28日 集中講義期間
- 21日 大学祭準備(臨時休業)
- 22~23日 大学祭

後期

10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

- 1日 後期授業開始
- 1~12日 後期履修登録期間

11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

- 20日 金曜日の振替授業日

12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 22日 冬期休業 ~1月6日

1月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

- 16日 月曜日の振替授業日
- 17日 金曜日の振替授業日
- 18日 大学入試センター試験準備(臨時休業)
- 19~20日 大学入試センター試験

2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

- 1~7日 定期試験・補講日
- 8~14日 定期試験予備日
- 13日 卒業研究論文提出期限
- 15~28日 集中講義期間
- 22日 学部入学試験準備(臨時休業)
- 25日 学部入学試験
- 27日 博士後期課程入学試験(第2次推薦)
- 27日 博士前期課程入学試験(第2次募集)~2月28日

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

- 1日~ 春期休業
- 25日 学位記授与式

凡例

□ : 授業日(前期授業日:4月9日~7月27日)
(後期授業日:10月1日~1月31日)

■ : 集中講義期間(対象講義のみ)
(授業担当教員の都合により、上記以外の期間に実施することもある。)

■ : 定期試験・補講日

■ : 定期試験予備日

■ : 休業日

■ : 臨時休業日

	月	火	水	木	金
前期	17	19	19	19	18
後期	17	19	19	19	18
合計	34	38	38	38	36

振替授業日一覧

7月18日	月曜日の振替授業日
11月20日	金曜日の振替授業日
1月16日	月曜日の振替授業日
1月17日	金曜日の振替授業日